

平成29年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科 開講型)	研究科名	公共政策教育 部	カテゴリー	社会科学総合科目群	横断 区分	文理横断型				
授業科目名 (英訳)	現代規範理論 (Public Philosophy)		講義担当者 所属・職名・ 氏名	法学研究科 教授・森川 輝一		開講 場所	総合研究2号館 公共第一教室				
配当 学年	専門職 修士	単位 数	2単位	開講年 度・開講 期	前期	曜時限	月4限 (14:45-16:15)	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
〔授業の概要・目的〕											
<p>本授業は、現代社会が直面する諸問題に関して、主として政治理論の領域において提出された多様な解答を考察することを目的とする。今日、象牙の塔に立て籠もり観想的な学問にとどまっていた従来の研究姿勢を反省して、哲学・倫理学・法哲学・公共経済学等の諸領域において、領域横断的にアクチュアルな課題に実践的に対応し、一定の処方箋を提示しようとする規範理論の構築が盛んになりつつある。政治理論も例外ではない。本授業では、このように他の学問領域と交錯しながら活発に展開されている現代政治理論の諸相を多面的に検討する。</p> <p>しかしながら、現代規範理論は、過去の思想的遺産とけっして無縁ではなく、むしろその延長線上に構想されている。また、思想・理論は、現実と切り離されたところで空中楼阁の如くに成立するわけではなく、常に直接的、間接的に当該時代状況と真摯に向き合うなかから生み出される。従って、本授業では現代規範理論と政治思想史の両者の知見を比較対照しながら考察することによって、両者の連続性を明らかにすると同時に、逆に現代社会の特殊性を浮き彫りにすることを目的とする。</p>											
〔研究科横断型教育の概要・目的〕											
<p>本授業科目は公共政策大学院の基本科目であるが、現代社会においては社会正義に関する知識は公共的な職務に就く者のみならず、研究者を含めて理系・文系を問わずあらゆる職務・職業に従事する者にとって不可欠なものになりつつある。この授業では、正義に関する思想・哲学についての素養がなくても理解できる入門的な知識を提供することが目的である。</p>											
〔到達目標〕											
<p>現代規範理論の主な内容と議論状況を、現代社会の諸問題とのかかわり、および思想史的背景を踏まえつつ理解し、アクチュアルな公共的課題に実践的に応答するための資質と教養を身につけること。</p>											
〔授業計画と内容〕											
<p>前半部分では、ロールズの政治議論を軸とするリベラリズムの規範理論を、後半部分でデモクラシー理論を扱う予定である。授業は、教員が配布する資料(レジュメ)をテキストとして進められる。主として教員によるレクチャーというかたちをとるが、レジュメ記載の論点や例題を題材に、適宜受講生が発言する機会を設ける予定である。受講生一人ひとりの積極的な授業参加が求められる。</p> <p>授業全体のスケジュールは、以下のとおり。</p>											
<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 二つの政治の捉え方——古代と近代 3. 現代リベラリズム理論の諸相(一):自由主義の歴史的展開 4. 現代リベラリズム理論の諸相(二):規範理論としての功利主義 5. 現代リベラリズム理論の諸相(三):ロールズ『正義論』 6. 現代リベラリズム理論の諸相(四):後期ロールズと「政治的」リベラリズム 7. 現代リベラリズム理論の諸相(五):古典的自由主義の再生 8. 現代リベラリズム理論の諸相(六):コミュニタリアンのリベラリズム批判 9. 現代デモクラシー理論の諸相(一):アーレントの全体主義論 10. 現代デモクラシー理論の諸相(二):アーレントの実践的政治概念 11. 現代デモクラシー理論の諸相(三):共和主義的政治理論 12. 現代デモクラシー理論の諸相(四):ハーバーマスと熟議デモクラシー 13. 現代デモクラシー理論の諸相(五):闘技デモクラシー 14. 現代デモクラシー理論の諸相(六):フェミニズムと政治理論 											
〔履修要件〕											

特になし
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕
受講態度も加味しつつ、基本的には学期末のレポートによる。
〔教科書〕
特に指定しない
〔参考書等〕
川崎修・杉田敦編『現代政治理論』(有斐閣アルマ) 山岡龍一・齋藤純一『公共哲学』(放送大学大学院教材)
〔授業外学修(予習・復習)等〕
配布資料や、必要に応じて参考書等を読み、理解を深めること
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕
特になし